

令和元年前期学校評価（学校評価結果の考察）

①アンケート結果（平成 29～元年度前期比較）

努力を要する：(2.8 以下) 概ね良好：(3.2 以上)

領域	評価項目	生徒			保護者			教員		
		H29	H30	R 元	H29	H30	R 元	H29	H30	R 元
自ら学び考える	1 生徒は、授業に意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.2	3.4	3.0	3.1	3.0	3.0	3.2	3.0
	2 先生方は、わかりやすい授業を工夫している。	3.2	3.3	3.4	2.9	3.0	3.0	3.2	3.1	3.3
	3 生徒は、家庭学習の習慣が身につけている。	3.0	3.0	3.1	2.7	2.9	2.8	2.5	2.6	2.6
	4 生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている。	3.3	3.3	3.2	2.9	2.9	2.8	2.6	2.7	2.4
	5 生徒は、学校行事に仲間と協力して、積極的に取り組んでいる。	3.6	3.6	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.1
礼儀や思いやり	6 生徒は、明るいさわやかなあいさつができる。	3.4	3.3	3.3	3.0	3.0	3.1	2.6	2.7	2.5
	7 生徒は、場や相手に応じた言葉遣いを正しく身につけている。	3.4	3.2	3.3	3.0	3.1	3.0	2.8	2.9	2.6
	8 生徒は、好ましい友達関係ができており、楽しく登校している。	3.5	3.5	3.5	3.3	3.2	3.3	2.9	2.9	2.9
	9 生徒は、学校や社会のルールを守っている。	3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	2.9	2.9	2.8
	10 生徒は、周囲への感謝の心が育っている。	3.5	3.4	3.4	2.9	2.9	3.0	2.3	2.6	2.5
	11 学校は、人権教育が推進され、いじめや差別をなくす教育がなされている。	3.3	3.4	3.3	3.0	2.9	3.0	2.8	3.3	2.8
	12 生徒は、専門委員会等の生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.5	3.6	3.1	3.2	3.2	2.8	3.3	2.5
心身健康	13 生徒は、部活動に目標を持って、意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.6	3.6	3.2	3.2	3.3	3.0	3.1	3.1
	14 先生は、生徒の悩みについて、迅速で適切な相談に努めている。	2.9	3.0	3.3	2.9	2.9	3.1	2.8	3.1	3.1
	15 生徒は、給食をおいしくいただけていて、残すことはない。	3.2	3.3	3.4	3.4	3.3	3.5	3.5	3.4	3.1
学校運営	16 学校は、清掃が行き届き、清潔である。	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	2.6	2.8	2.3
	17 学校は、安全面や環境整備に気を配っている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	2.9	3.2	3.3
	18 学校は、掲示物が充実しいろんな情報がわかりやすい。	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	2.9	3.2	2.9
	19 学校は、学校・学級だよりやホームページ等で、積極的に情報提供している。	3.4	3.4	3.4	3.1	3.1	3.4	3.3	3.3	3.3
	20 学校の指導方針に共感でき、特色ある教育活動に満足している。	3.2	3.1	3.2	3.1	3.0	3.1	2.7	2.9	2.9

3.3 3.3 3.4 3.1 3.1 3.1 2.9 3.0 2.9

②前期学校評価の考察

大項目 1：自ら学び考える

- 生徒評価は、「家庭学習の習慣が身につけている」以外は、3.2p（80%）以上の結果であり、良好である。特に、「学校行事に協力して積極的に取り組んでいる」との回答は 3.5p（88%）と高い。

「家庭学習」については、生徒評価で 2、3 年生ともに 3.0p を超えていたが、保護者評価では 1、2 年生の評価が低く、生徒と保護者の意識に違いがあることがわかる。

「自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている」の生徒評価はどの学年も 3.0p 以上で良好であったが、保護者の評価は 2.8p で、特に 1 年生の保護者は平均 2.5p と低かった。今後の進路指導の充実が重要である。

教員評価では、「家庭学習」「将来の生き方・職業」についての評価が共に低く（2.6p・2.4p）、職員は課題と捉えている。

大項目 2：礼儀・思いやり

- 生徒評価は、7項目すべてにおいて 3.3p 以上の高い評価がどの学年も出ていた。保護者の評価も平均 3.0p で良好であるが、教員評価はどの項目も 2.5p～2.9p と低く、課題と捉えている。特に、生徒と教員の評価に開きがあったのは、「生徒は、専門委員会等の生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。」の項目で、生徒評価は 3.6p で教員評価は 2.5p となっている。生徒会活動の活性化を職員は大きな課題と捉えている。
- 教員評価では、昨年度の評価でも課題となっていた「**周囲への感謝の心**」への改善が見られていない。また、その他の項目についても 2.5p～2.9p となっており、生徒・保護者と教員との意識の差が大きいことがわかる。生徒会活動でも取り組んでいる「**明るいさわやかなあいさつ**」も 2.5p と昨年度前期より低くなっており、生徒評価との意識の差が大きいことは、今後の改善点を示している。
- すべてにおいて、教員評価の前期評価が低いので、大項目「礼儀・思いやり」に関連する、「あかるくさわやかなあいさつ」「言葉遣い」「好ましい友だち関係」「ルールを守る」「周囲への感謝の心」「いじめや差別をなくす教育」「生徒会活動への意欲的な取り組み」について、育成していく具体的な取組が後期の課題である。

大項目 3：心身の健康

- 全体的におおむね良好である。項目の中の「先生は、生徒の心身の悩みに迅速で適切な相談に努めている」については、生徒・保護者・教員の三者ともに改善が見られている。特に、生徒評価が昨年度前期評価に比べ、0.4p 上昇しているので、教育相談や生徒の悩み相談に対応している成果である。
今後も職員が生徒の悩み相談にしっかり対応することに努め、生徒・保護者・教員の三者間の信頼関係を築いていくことで、生徒が安心して学校生活を送る礎としていく。

大項目 4：学校運営

- 「学校は、清掃が行き届き、清潔である。」の項目について、教員評価が 2.3p と全項目の中で一番低かった。生徒・保護者の評価は 3.1p と良好であったが、職員の意識としては、清掃への取組指導に力を入れていく必要性を感じている。また、「特色ある教育活動に満足」については一昨年度や昨年度と比べると少しずつ上昇が見られているが、以前として 2.9p という結果なので、今後も職員全体の課題として、意見を出し合いながら改善をはかっていく必要がある。
「学校・学級だよりやホームページ等で、積極的に情報提供している。」の項目については、生徒・保護者・教員ともに 3.3p 以上と高い評価で、学校からの情報提供は良好になされていることがわかる。

全体的に

- 教員評価は低い、生徒・保護者評価が高い項目が目立ち、教員側が課題として捉えている項目が多いことがわかる。三者共に低い項目については、それぞれについて職員間で共通理解を図るようにし、内容を精査して、具体的にどのようにして改善していくか共通理解を図り、実践的な取組にしていく。
- 教員評価が全体的に低いということは、これまで以上に学校教育目標の達成に向けて改善に取り組む必要があるということである。目に見える取組を通して、生徒の変容や学校環境の改善など、職員自身が実感できる取組を進めていかなければならない。
また、地域の方々や保護者との連携を図りながら、子どもたちが安心して学び、通える学校づくりに力を入れ、今後とも指導の工夫を行い、努力していく必要がある。